

ひこうせん

「ひこうせん」さんは、1971年から精神障がいのある方の社会参加を支援する場として運営を続けてこられました。現在は18名の利用者さんと職員で内職やポスティング、昼食作りやレクリエーションなどを通じて人との関わり合いや体力づくりなどを行っておられます。

事業所が掲げておられる「生活のしづらさを皆で和らげていくところ」という方針通り、みなさんとても和やかな雰囲気です。利用者さんの人数に変動があるので、これまでは定期的かつ納期のある仕事は断ることが多かったそうです。しかし、今年度は単発で納期も短い仕事が続々とあり、利用者さんのより稼ぎたいという思いから、下請仕事を積極的に受け入れておられます。事業所が大切にされていることとして、仕事ごとに利用者さんの中でグループリーダーを決め、リーダーが不在のもとでは仕事は進めないというルールがあります。これは、大きな仕事を達成するためには、みんなが共同して作業にあたるということを意識することが必要だと考えているためです。また、それぞれの役割を考慮することで責任感が生まれ、それが短期納期の仕事も集中して取り組めることにつながっています。そうして働いて得た工賃は生活を楽しむための手段であり、上手に使う“道具”だと考えておられます。

テーブルマナーを学ぶために食事に出かけたり、パスポートを取って海外旅行へ行かれたりと、みんなで楽しむことができる様々なイベントを開催されており、それが働くことの目標にもなっています。ともに働き、互いを尊重し合い、必要な存在であると認め合う関係が「ひこうせん」のみなさんの活動を支えています。そして今後、地域の事業所がもっと連携して取り組める方向をめざしておられます。



特定非営利活動法人 ひこうせん
ひこうせん
大阪市中央区法円坂 1-1-35 アネックスパル法円坂 4F
TEL: 06-6944-1570 FAX: 06-6944-1580



今年度はいいぞー!! 下請け仕事の「共同受注システム」

工賃倍増プロジェクトから始めた下請け仕事の「共同受注システム」が今年度はあちこちでさまざまな花を開かせています。

「共同システム」とは、企業様からの大量受注や短期納期に応えるために、地域ブロックごとに複数の事業所でネットワークを組み、ニーズに応じた仕組みをつくり仕事を請けるシステムです。例えば・・・

【大量受注】オレンジリボンの組立、封入作業

今年で3年目となるオレンジリボンの組立作業は、大阪市内、北摂、北河内、泉州ブロックと5つの地域でネットワークを組み、それぞれで合同説明会を開催。材料や納品の拠点となる事業所を決め、約2ヵ月間で約10万セットを受注。今年度は価格も整備し、リボンの組立てのみで単価10円。それぞれの事業所では治具を工夫し、意欲的に作業されていました。

【短期納期】さまざまな封入、シール貼り作業

単価、数量、作業内容がその都度変わり、納期はだいたい1週間以内。今年度はそんなスポット仕事を次々と受注。単価2円から7円の作業に利用者さんもやる気になり、1日で1,000個近く仕上げる事業所さんも現れるほど。このような仕事を継続的に受注するために、スポット仕事を得意とする事業所に声をかけ、各事業所が連携できる新たな「共同受注システム」に取り組んでいます。

工賃向上計画の下請けチームは、販路も受発注もコーディネーターはニューフェース。チームワークのよさと熱心さで新しい企業様を次々と獲得。売上げも昨年の倍以上。作業内容に応じて、電話、書面、Passoなどでご案内していますので、みなさんも積極的に参加してください。

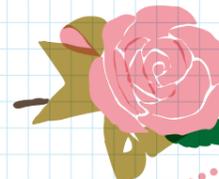
おしごと情報

お問い合わせ 電話 06-6949-3551
FAX 06-6920-3522

NO.1

コサージュを手づくりしている事業所さんを探しています!

- 用途：高校生が卒業式で胸につけるコサージュ
- 条件：利用者さんのかかわり度が半分以上あること
- 数量：400個程度（価格：350円程度）
※9月現在、2つの高校からご注文をいただいています
- 納期：2月中旬 **★申し込み期限：10/31（水） 担当：山本**



※全てのお申込みは、工賃引上げ計画シート提出済みの事業所が対象となります。

NO.2

大阪市北浜にある住友ビルの出店者募集!

- 開始日：11月からスタート（曜日などは事業所と調整）
- 場所：住友ビル 地下食堂周辺
- 時間：11時30分～13時30分（延長可）
- 販売品：パン・クッキー（物販）、雑貨など
※販売場所は、地下にある店舗の一角。食堂では毎日2000食を用意。一緒に考え工夫していただける事業所を希望します。
★申し込み期限：10/17（水） 担当：折田



未来へつながる高校の文化祭

企業様など色々な場所で出店していただいている目的のひとつは、事業所の工賃向上ですが、高校の文化祭の出店では、工賃向上の他に大事な目的があります。それは、これから様々な人に出会いながら社会参加をしていく高校生たちに、『障がいのある人たちのことを少しでも知ってもらいたい』という事です。

例えば、平成22年度から出店させて頂いている大阪府立茨木高等学校の場合、文化祭の実行委員の高校生とやりとりをしながら、高校生が模造紙に手づくりで事業所を紹介してくれたり、文化祭のプログラムに販売促進の記事を書いてくれたりしています。出店している事業所もプログラム片手に文化祭を楽しく見学されています。そして、文化祭の後、高校生が試験のない時期に実行委員会のみなさんを事業所のイベントに誘い、地域ならではの交流へとつながっています。

今年度は、新たにに出店させて頂ける高校が3校に増えます。茨木高校の事例を紹介すると「来年からは、生徒と一緒にできるようにしますね」と笑顔で答えていただきました。つながりやふれあいを目的としたこのような出店もどんどん開拓していきたいと考えています。

